完勝で男子優勝

アーチェリー部

集中して矢を射る
遠藤周選手（撮影・山口史恩）

【22・23日　弓道場】

アーチェリー部の四大戦が男女ともに朝霞グラウンドで行われた。今回の試合では、50mと30m先の的に向かって矢を射る。1セットにつき3本の矢を放ち、2セットずつをまとめて1エンドと呼ぶ。これを6エンドまで行うので、片方だけで1人36射、二つの距離で合計72射ということになる。1射の点数は10点満点とし、的の中心に近いほど点数が高くなる。そして各校8名の出場選手のうち、上位6名の合計得点で勝敗を争う。試合前、主将の寺嶋陸選手（営3）は「今年は部全体の雰囲気を上げるために、新しい応援方法をミーティングで考えたりしました。それを四大戦で実践して、その後の甲南戦やリーグ戦で勝てるようにしていきたいと思います」と力強く語ってくれた。

高い集中力

まず、22日に女子の試合が行われた。曇り空が広がり時折小雨がぱらつくなか試合開始。永嶋佳奈子選手（済3）や木村真美選手（哲3）が序盤から高得点を出して最後までチームを引っ張った。試合後、玉野由季選手（法3）は、「今回の試合は各大学とも実力が拮抗していました。そんななか成城大には負けてしまいましたが、成蹊大には追い抜いて勝てて2位に入れたことがチームにとって良い励みになりました。気持ちが落ちてしまうと点数も悪くなってしまうところがチームの課題だったので最後まで明るく楽しくできたことも良い点数につながったと思います」と笑顔で達成感を口にしてくれた。23日に行われた男子の試合では寺嶋選手や東口純治選手（法3）、宇佐見敦選手（済3）らが50mで50点台を連発。30mでは全選手が50点台を複数回出して圧倒的な強さをみせた。試合後、寺嶋選手は「50mでは最初から全力でいって相手との点差を広げることができました。しかし主力の選手がもう少し点数を伸ばさないと今後の一部リーグで戦えないと思います。また30mでも、外した後に挽回する精神的な強さが欠けているのでこれから鍛える必要があります」と次に向けての課題を話してくれた。四大戦を通じて男女ともに活躍したアーチェリー部の今後の成長に期待したい。（山口史恩）

女子2位
チーム力の良さを発揮した
選手たち（撮影・長峰一誠）

成蹊大とのデットヒート制す

Gakushuin Sports

学習院 総合優勝 144対143で成蹊 優勝!!

第67回四大戦総評

総合優勝を果たし
笑顔を見せる本学の代表ら
（撮影・岡野玲於奈）

四大戦とは

旧制高校時代から関係の深い、学習院・成城・成蹊・武蔵の4大学で行われるスポーツの祭典。四大学運動競技大会が正式名称である。昭和25年に第一回大会を開催して以降、毎年行われ、今年で67回目を迎えた。各大学が持ち回りで主催校となり、今年は武蔵大学で実施された。

競技種目は運動部中心の正式種目に加え、サークルや有志団体による一般種目や教職員種目からなる。順位に応じて得点を加算。参加チームが少ない時や引き分けた時には特別規定を適用。演武会・教職員種目を除いた合計得点数で順位が決まる。本学は4大学の中で優勝回数最多を誇り、他の3校を圧倒している。

発行人　日森　進吾
編集人　鈴木　花帆
福田　健太
発行所　学習院大学新聞社
03(3986)0221　内線2607
〒171-8588
東京都豊島区目白1丁目5番1号
黎明会館316号室

総評

10月21日から23日までの3日間、武蔵大学の江古田キャンパス、朝霞グラウンドにて四大学運動競技大会が開催された。「四大戦」として親しまれているこの大会は今年で67回を数える長い歴史と伝統を持つものだ。学習院、成蹊、武蔵、成城の四大学がさまざまなスポーツで競い合い、友好を深めることを目的としている。

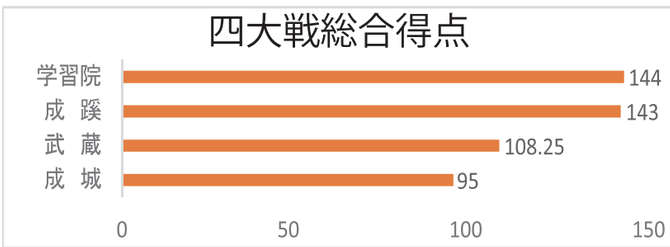
本学は第55回大会（平成16年）から11年連続で総合優勝を果たしていた強豪である。優勝回数も54回と四大学中最多。しかし、昨年度は成蹊大学にその座を奪われた。

2016度の四大戦のスローガンは「四光」である。これには、学生時代を振り返った時に「あのときの私はキラキラしていた」と思える大会にしたいという想いが込められている。また、各大学はそれぞれが大会を照らし成功へ導く光としての役割を持っているという意味も含まれている。

こうした大きなスローガンの下に開催された本大会は、各大学がしのぎを削る熱い大会となった。本学はバスケットボールや駅伝、アーチェリー男子などの競技で1位を獲得するなど大健闘。会場は大いに盛り上がった。総合得点は学習院144点、成蹊143点、武蔵108・25点、成城95点。本学は成蹊とわずか1点差で今年度の総合優勝を勝ち取った。

来年度の四大戦は成城大学で行われる予定だ。来年は今年とは違い連覇をかけた重要な大会となる。選手たちの活躍が大いに期待される。（長峰一誠）

エールを送る応援団
（撮影・岡野玲於奈）



総合力で優勝

【23日　駅伝コース】

四大戦のフィナーレを飾るのは、花形種目ともいえる駅伝。各大学の応援団を含め、コース沿いには多くの応援客が集まり一番の盛り上がりをみせた。今大会は、各大学男女8人ずつ選出し、A・Bの2チームに分け出場する。男子は一人につき1・5kmのコースを4周し6km、女子は2周の3kmを走る。

応援も最高潮を迎える中、まず女子のレースが幕を開けた。レース序盤、各大学が拮抗した戦いを魅せるも、本学はAチームが4位、Bチームが5位と苦戦を強いられる。しかし、ペースを落とすことなく、着実に前者との距離を縮め、逆転のチャンスを狙う。そして、Aチームの第三走者五十嵐有冴選手（法2）が成城Aチームを抜き3位へ。それに続くようBチームも4位へと邁進し、そのまま後者を引き離し、ゴール。見事な逆転劇で成蹊Aチームを約1秒差でくだし、総合1位を獲得した。

連覇達成へ

女子レースの興奮が冷めやらぬ中、男子レースが開始した。第一走Aチーム赤司凌選手（物3）の果敢な走りにより、スタートから2位という高順位を死守。タスキをアンカーまで繋いだ。一方Bチームは、序盤から8位と厳しい戦いを強いられる。しかし、圧倒的差を諸共せずに、第二走、第三走と順位を上げ、4位でアンカーへ思いを託した。ここまで両チームとも高順位だが、まだ快進撃は終わらない。スタートから2位のAチーム。第四走者佐々木啓吾選手（営1）が怒涛の勢いで迫り、3周目についにトップへ躍り出た。そのまま、後続にチームに隙を与えることなく、見事1位でゴールテープを切った。Bチームも4位と健闘し、男子も総合1位と輝かしい成績を収めた。

佐々木選手は「最初は劣勢でしたが、1位になれて本当に嬉しい。皆が必死に頑張ってくれたから勝てた。感謝したいです」と笑顔で答えてくれた。一人の努力だけでは決して勝ち取ることのできなかった1位。チームの心と力を一つに結集し勝利を獲得した感動を、目の当たりにした。（鈴木花帆）

駅伝男女
ゴールする佐々木選手
（撮影・岡野玲於奈）

學習院大學新聞

成文堂
学習院店
03（3981）9718
〒171－0031

學習院櫻友會 九十五周年
山崎直子さん学習院にやってくる!
宇宙飛行士
桜友会特別フォーラム
平成28年 11月24日(木) 午後6時00分~7時30分
(開場午後5時00分)<入場無料>
演題 宇宙、人、夢をつなぐ。
宇宙ステーションでの体験談やご自身の学生時代、挑戦を続ける生き方、そして宇宙開発の将来を語っていただきます。
千葉県松戸市生まれ。1999年国際宇宙ステーション(ISS)の宇宙飛行士候補者に選ばれ、2001年認定。2004年ソユーズ宇宙船運航技術者、2006年スペースシャトル搭乗運用技術者の資格を取得。2010年4月、スペースシャトル・ディスカバリー号で宇宙へ。ISS組立補給ミッションSTS-131に従事した。2011年8月JAXA退職。内閣府宇宙政策委員会委員、日本宇宙少年団(YAC)アドバイザーなどに就任中。著書に「宇宙飛行士になる勉強法」(中央公論新社)、「夢をつなぐ」(角川書店)、「瑠璃色の星」(世界文化社)など。
会場：学習院創立百周年記念会館　主催：学習院同窓会桜友会
お申込み方法 ご来場ご希望の方は、桜友会ホームページでお申し込みください。入場券をお送りします。
お申込み先 http://gakushuin-ouyukai.jp/
「桜友会特別フォーラム申込書」をクリックして下さい。
学習院の学生・生徒・ご父母・卒業生・ご友人、教職員の皆様、多数のご来場をお待ちしております。
開催迫る! 今すぐお申込みください。

大差つけ快勝

各種目で健闘

一般種目

4年連続で優勝を逃している一般種目。応援を背に受けて3日間白熱した試合が続いたが、今年も続けて優勝を逃した。

ドリブルで攻め込む紫大地選手（済・2）（撮影・山口史恩）

バスケットボール男子

戦績	スコア	対戦相手
1回戦	39－31	武蔵C
2回戦	52－31	成蹊A
準決勝	43－33	武蔵A
決勝	67－55	武蔵B

【21・22日　体育館】

10月21日、22日に行われた、一般種目のバスケットボール。本学から出場したRUBBISHは1回戦、2回戦を危なげなく勝ち上がり、準決勝に駒を進める。準決勝の相手は武蔵大学Aチームである。試合前に鈴木優之選手（英3）は「この試合に勝てば決勝に進めます。疲れはありますが絶対に勝ちます」と意気込んでいた。

試合は相手に先制され一時6点をリードされるも、本学は焦ることなく、すかさず反撃。第2Qに逆転に成功すると、その後も好機を確実に生かし得点を重ね、43対33で勝利し決勝に進出した。

いざ決戦へ

大一番を前に多くの観客が詰めかけ、試合会場も熱気に包まれる。対戦相手は武蔵大学Bチームである。

試合は開始30秒にいきなり動く。下島凌太選手（史2）のパスを受けた鍋谷嵩選手（数2）がドリブルからシュートを放つが惜しくも外れてしまう。しかし、このプレーが相手選手のファウルを誘いフリースローのチャンスを得る。これを鍋谷選手が決め本学が先制する。第1Qはそのまま本学が20点を挙げ有利に試合を進めた。第2Qでも勢いは止まらない。開始2分30秒、鍋谷選手が思い切りよく3ポイントシュートを決める。5分30秒には鈴木選手が2本連続でフリースローを決め点差を23点に広げる。

そして勝負は最後の第4Qへ突入する。開始すぐに武蔵大が立て続けに攻め込み、点差を12点に縮められてしまう。本学は必死の守備でリードを守る。残り30秒にも相手の猛攻を受け苦しい時間が続く。しかしリードを守り、試合は終了。67対55で本学が優勝を果たした。2回戦以降は相手チームに10点以上の差をつける圧倒的な強さであった。攻撃の要として活躍した鍋谷選手は「引退が懸かっている先輩方と優勝できて本当に良かったです」と喜びを爆発させた。また、攻守に奮闘した鈴木選手は「優勝できて最高です。皆の勝ちたいという気持ちが結果に結びつきました」と語ってくれた。

連覇に向けて

現在70人超で活動しているRUBBISH。今年は多くの1年生も加入し、上級生に声援を送り、必死のプレーを見つめていた。来年は彼らが中心選手となって連覇を狙う。再び頂を目指す戦いは既に始まっている。（関沢裕一朗）

健闘をみせ準優勝

ブロックを決める白石優美選手と大貫恵理子選手（撮影・岡野玲於奈）

女子バレー

【22・23日　高・中体育館】

一般種目の女子バレーにおいてチームAは本学唯一のバレーサークルであるQUASARが出場した。意気込みを比留間彩美選手（政3）に聞いてみると「昨年は総合優勝を逃してしまったので、総合優勝をするため私たちQUASARも全力で頑張ります」と気合充分な様子で語った。そして試合当日、1回戦目の相手は武蔵大学である。お互いに1点ずつ点数を重ね一進一退という状態が続く中、本学は1セットを先取した。そして相手の隙を突くかのようにアタックやブロックを決め、2セット目も取得し、勝利を収める。

翌日の準決勝では成城大学Aチームと対戦をした。武藤美穂選手（生2）の絶妙なラインを狙うアタックなどが決まり1セット目を先取。2セット目は小沼里紗子選手（心2）のサーブや大園来夢選手（営1）のレシーブが決まり5点連続ポイントを決める。ペースを保つ中、点数が追いつかれるが焦らず確実に点数を重ねていき2セット目も取得。決勝進出が決まった。

そして決勝戦の相手は武蔵大学。相手チームのレシーブで崩される中、白石優実選手（心3）のアタックが決まるが、1セットを相手に先取されてしまった。後半も相手ペースで進む中でも、武藤選手や比留間選手がアタックを決めようとし追いつこうとするがブロックされてしまう。そして最後にフェイントを決められ21対25で敗北し準優勝という結果で終わった。最後に比留間選手に想いを聞くと「四大戦優勝という本サークルの目標を達成できず、悔しい気持ちもあります。しかし、チームで最後まで戦えたことが何よりも幸せです」と誇らしげに語ってくれた。

健闘をみせ、準優勝に輝いたQUASAR。来年こそは彼女らが頂点を勝ち取る姿が見られることを期待したい。（岡野玲於奈）

激闘勝ち抜き準優勝

果敢にゴールへ迫る本学選手（撮影・安井大河）

サッカー男子

【21・22日　朝霞サッカー・ラグビー場】

10月21日と22日の二日間に渡り朝霞グラウンドでサッカー競技が行われた。本校は学習院大学Aチームとして D. T. Mが出場した。試合前、真田一輝キャプテン（法2）は「史上初のサークルでの学内戦優勝を果たせたのでその流れに乗っていきたいです。目標はもちろん優勝です」と語り、意気揚々と選手たちは一回戦に臨んだ。熱い戦いの火蓋が切って落とされた。

激しい攻防

一回戦の相手は武蔵大学Bチーム。試合序盤パスがなかなか繋がらない。しかし試合開始17分後相手のトラップでこぼれたボールを昇晴希選手（法3）が一気にロングシュート。これが決まり先制に成功。後半は焦る相手に体を張って守り切り1対0で勝利。準決勝の相手は成城大学Aチーム。試合開始直後はゴール前でボールを回すなど本校のペース。しかし試合開始16分後左サイドから一気に攻め込まれ競り合いからこぼれたボールを押し込まれ先制を許す。それでもわずか2分後ファールでPKを獲得すると真田キャプテンがこれを決めて同点に追いつく。その後は互いに攻め込むも崩しきれず同点のままPK戦へ。相手の2本目のシュートをGKの稲葉太郎選手（済3）が見事セーブ。本校は櫻場太郎選手（法2）、石渡忍選手（英4）、阿部駿介選手（化3）などの5選手がシュートを成功し決勝進出を決めた。決勝戦の相手は成蹊大学Aチーム。後半に左サイドからシュートを許し先制され、試合終了間際にも失点し2対0で敗戦。準優勝という結果で彼らの戦いは幕を閉じた。今年はかなわなかったが院内戦の歴史を塗り替えた彼らならきっと雪辱を果たしてくれるだろう。

演武会

華麗に技を決める本学拳士（撮影・飯郷水萌）

快晴で迎えた四大戦初日。けやき広場にて演武会が開催された。各校の空手道部、少林寺拳法部、合気道部による圧巻の武技が次々と華麗に披露された。

トップバッターは空手道部である。黙想の後「始め！」の合図を皮切りに学年型、自由型、主将演武と艶やかに技かけを実演。特に試割では木板やバットが断ち割られる度に大きな拍手が送られた。「他校の良い点を吸収し、自分たちらしい型を模索していきたいです」と金直幸主務（政4）。

続くは少林寺拳法部による三大学合同演武会。息を飲むほど洗練された神野めぐみ拳士（心2）と曽根理子拳士（政2）による組演武に目を奪われた。道場の空間を最大限活用し、緩急の効いた動きで縦横無尽に技を、受け身を、見事に決めていく。単演の部で一番手を務めた大畑智哉拳士（史1）は「緊張感のある中で催されるこのような会にこれからも積極的に参加し、今後に生かしたいです」と前向きな様子だ。

最後に「正面に。お互いに」の礼で始まる合気道部が学年ごとの組演武を披露。力強く繊細で巧みな体裁きが印象的な田城勇主将（数3）がラストを飾った。田城主将は「反省点は本人たちがよく分かっていると思うので今後の稽古に生かしてもらいたいです」と後輩達に期待を寄せる。

真剣な表情で修道の境地を発揮した部員たち。道場と観客に深々と礼をし、仲間と他校の拳士たちと連れ立ち、会場を後にした。拳士たちの姿は演舞前より大きく見えた。（飯郷水萌）

今年度四大戦での本学の各競技得点

	総合得点
正式種目※	
アイスホッケー	2
アメリカンフットボール	3
駅伝（男）	4
駅伝（女）	4
弓道（男）	3
弓道（女）	2
剣道（男）	4
剣道（女）	4
硬式庭球（男）	2
硬式庭球（女）	4
硬式野球	4
ゴルフ	4
サッカー	4
柔道	1
水泳	1.5
水球	1
漕艇	1
卓球（男）	3
卓球（女）	4
バスケットボール（男）	4
バスケットボール（女）	2
バドミントン（男）	1
バドミントン（女）	1
バレーボール（男）	2
バレーボール（女）	2
ハンドボール	1.5
ホッケー（男）	2
ホッケー（女）	1.5
洋弓（男）	4
洋弓（女）	3
ヨット	4
ラクロス（男）	3
ラクロス（女）	4
正式種目合計	98
陸上競技	4
ラグビー	1.5
一般種目	
硬式庭球D（男）	3
硬式庭球D（女）	3
硬式庭球D（混）	3
サッカー	3
フットサル	2
軟式庭球D（男）	3
軟式庭球D（女）	3
軟式庭球D（混）	0
軟式野球	4
ソフトボール（男）	0
ソフトボール（女）	2
バスケットボール（男）	4
バスケットボール（女）	1
バレーボール（男）	0
バレーボール（女）	3
バドミントン（男）	2
バドミントン（女）	3
卓球S（男）	1.5
卓球D（男）	1.5
卓球D（混）	1.5
卓球S（女）	1.5
卓球D（女）	1
一般種目合計	46
教職員種目	6
硬式庭球	3
ソフトボール	3
教職員種目合計	6
総合得点	144

※自動車、スキー、馬術、フィギュアスケート、フェンシング、ワンダーフォーゲル、ボウリングは、今年度行われませんでした。

初の四大戦という舞台で躍動した彼らの今後が楽しみでならない。（佐藤翔太）

合格のれっく LEC　公務員　Congratulations!

2016年度 学習院大学より合格者輩出!!

学習院大学先輩 合格者の声

最終合格 ▶ 特別区、袖ヶ浦市

白井 聖人 さん　文学部在学中合格

私が合格・内定を獲得できた理由　「LECのおかげ！」

担任の先生をはじめ最後まで面倒を見てくれたLECの手厚いサポートのおかげです。通学での授業で勉強のペースもつかめ、先生方の授業はわかりやすく、受けていて楽しんでいる自分がいました。またホームルームや授業を通し、先生が率先して仲間作りを促してくれたことで、共に頑張る仲間と競い合い励まし合えたことも合格に繋がったと思います。

公務員公開講座　公務員試験の疑問点はLECで解決！

｜参加無料｜予約不要｜

池袋本校

公務員大量採用！今がチャンス！

11/19（土）16：30～18：00

学生のための公務員試験合格法

11/29（火）19：00～20：30

新宿エルタワー本校

60分でわかる！公務員試験のすべて

11/21（月）19：00～20：30

LECでは学習院大学生向けに公務員試験対策講座を特別価格でご提供しております。

詳細は学習院大学キャリアセンター、学習院薬々会設置のリーフレットをご確認下さい。お問合せは最寄りのLEC各本校へお問合せ下さい。

LEC東京リーガルマインド　池袋本校☎03-3984-5001　新宿エルタワー本校☎03-5325-6001

BOOKS売上ランキング

2016年 9月1日～9月22日　芳林堂書店(高田馬場店)

	文庫本部門		文芸書部門	
1	本日は、お日柄もよく　原田マハ	徳間文庫	危険なビーナス　東野圭吾	講談社
2	山女日記　湊かなえ	幻冬舎文庫	コンビニ人間　村田沙耶香	文藝春秋
3	村上海賊の娘1,2,3,4　和田竜	新潮文庫	何様　朝井リョウ	新潮社
4	ライムライト天切り松闇がたり5　浅田次郎	集英社文庫	最後の秘境東京藝大　二宮敦人	新潮社
5	何者　朝井リョウ	新潮文庫	強父論　阿川佐知子	文藝春秋

学習院大学史学会 2016年度例会

「ル・コルビュジエ　モダニスム建築　日本への影響」

2016年11月26日（土）

第1部　講演会　10：30～11：30（10：00開場）

講師　中野隆生先生（学習院大学文学部教授）

於　学習院大学中央教育研究棟12階国際会議場

第2部　見学会　14：00～15：00（13：50集合）

於　上野国立西洋美術館

＊入場無料・事前申し込み不要

〈お問い合わせ〉〒171-8588　東京都豊島区目白1-5-1 学習院大学文学部

史学科研究室内（北2号館2階）　MAIL：hist-soc@gakushuin.ac.jp